

第26週の発生動向 (2005/6/27~2005/7/3)

1. 咽頭結膜熱は、青森保健所管内、上十三保健所管内、むつ保健所管内で引き続き**警報**が出されています。
2. 水痘は、五所川原保健所管内であらたに、むつ保健所管内において引き続き**注意報**が出されています。
3. 手足口病は、弘前保健所管内において引き続き**警報**が出されています。
4. 伝染性紅斑は、青森保健所管内において引き続き**警報**が出されています。
5. ヘルパンギーナは、弘前保健所管内であらたに**警報**が出されました。

第26週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ															0
(60) 咽頭結膜熱	12	1.50	3	0.30					10	1.67	6	1.50	31	0.74	3
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	0.75	14	1.40	2	0.22	2	0.40	1	0.17			25	0.60	-3
(62) 感染性胃腸炎	16	2.00	3	0.30	5	0.56	2	0.40	6	1.00	7	1.75	39	0.93	-19
(63) 水痘	8	1.00	26	2.60	14	1.56	22	4.40	10	1.67	18	4.50	98	2.33	-14
(64) 手足口病	12	1.50	64	6.40	30	3.33	4	0.80	19	3.17	9	2.25	138	3.29	44
(65) 伝染性紅斑	33	4.13			2	0.22					3	0.75	38	0.90	-7
(66) 突発性発しん	3	0.38	8	0.80	3	0.33			6	1.00	6	1.50	26	0.62	-1
(67) 百日咳															0
(68) 風しん			1	0.10									1	0.02	1
(69) ヘルパンギーナ	7	0.88	61	6.10	3	0.33							71	1.69	28
(70) 麻しん(成人を除く)															0
(71) 流行性耳下腺炎	6	0.75	3	0.30	11	1.22	5	1.00	7	1.17	3	0.75	35	0.83	10
(73) 急性出血性結膜炎															0
(74) 流行性角結膜炎	2	1.00	1	0.33					2	1.00			5	0.45	2

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
青森	13	8	5	2	1
弘前	16	10	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
合計	65	42	23	11	6

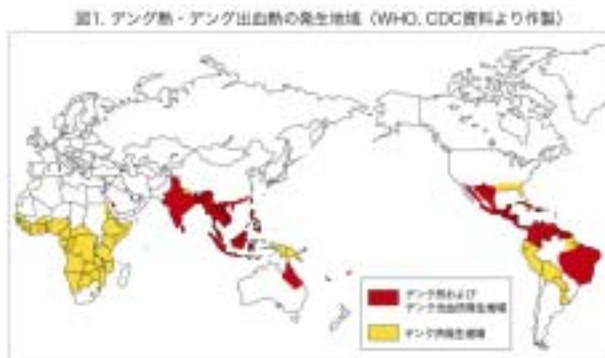
■ は警報 ■ は注意報 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (17年計には、今回届出された人数を含む)

- (29) つつが虫病(四類全数把握疾患) 青森保健所管内: 2人、弘前保健所管内: 1人 (17年計 6人)
- (51) 後天性免疫不全症候群 (五類全数把握疾患) 弘前保健所管内: 1人 (17年計 8人)
- (82) マイコプラズマ肺炎 (五類基幹定点把握疾患) 八戸保健所管内: 5人 (17年計 57人)

感染症の窓

デング熱 (dengue fever)



デング熱は、ネッタイシマカやヒトスジシマカによって媒介されるデングウイルスの感染症です。非致死性のデング熱と重症型のデング出血熱の二つの病態があります。

デング熱は、一過性の熱性疾患で、感染3~7日後に突然の発熱が始まり、多くの場合、頭痛、眼窩痛、筋肉痛、関節痛を伴います。発症3~4日後から胸部・体幹に発疹が現れ四肢・顔面に広がります。これらの症状は1週間程度で消失し、通常は後遺症はありません。

デング出血熱は、デング熱と同様に発症しますが、血漿漏出と出血傾向がみられます。不安・興奮状態となり、発汗がみられ、四肢が冷たくなります。

血漿漏出が進行するとショック症状を示し、デングショック症候群と呼ばれます。デング熱の主な発生地は、熱帯・亜熱帯地域である東南アジア、南アジア、中南米、カリブ海諸国、アフリカ、オーストラリア北部、中国南部、台湾などです。(図1参照)

現在、日本国内での感染はありませんが、海外旅行で感染して国内で発症する例がありますので、夏休みにこれらの地域に出かける方は**注意してください**。(表1参照)

予防方法としては、ワクチンがないので、長袖・長ズボンの着用や昆虫忌避剤の使用など**日中でも蚊にさされない工夫が必要です**。

表1 過去5年のデング熱発生状況 (単位:人)

	全国	青森県
平成13年	26	0
平成14年	41	0
平成15年	16	0
平成16年	34	0
平成17年	13	0